

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和6年2月10日(土)午後2時～3時30分
場 所 亀久保町会（亀久保南会館）
参加者 17人



主な意見等

参加者 災害のための資機材が自治組織補助金のおかげで充実してきました。しかし、災害用消耗品を備蓄するための自治組織補助金はない状態です。災害時には、トイレ用品などの消耗品がまず必要になってきます。能登半島地震でもトイレが一番苦労されている印象を受けました。災害の際に衛生管理も必要になりますので、災害用消耗品の補助金を創設してほしいと思います。

市 長 備蓄品につきましては、水やトイレなど、簡易なものは行政においても備えていますが、市民全員を賄えるものではありません。食料やトイレ、水などは市民の皆さんにもご協力していただきたいのが現状です。また、埼玉県は立地的に東京から近く平野部も多いことから、外部から支援を受けやすいため、大量備蓄を行わずに受援体制を整える方針となっております。消耗品の備蓄に対する補助金のご意見をいただいたことは担当課に伝えます。

参加者 市内循環バスは、いつもバスが空っぽの印象があります。近隣の方には、停留所の場所を知らない方も多くいます。皆さんが利便性を感じていないのではないかと思います。誰に対して利用してもらいたいと

思い導入したのでしょうか。

市長 誰が一番乗ってもらいたいというのはございません。以前、中型バスで運行していた際は、走行コースも限られており、市議会議員から空気を運んでいるといわれたこともありました。ワゴン車タイプに変更し台数を確保できましたが、一台あたりの乗車定員を減らしました。これまでにコースを増やして利便性を上げてきましたが、それでも乗っていないといわれる区間もあります。また、アンケート調査では、運賃を上げてもいいから利便性を向上してほしいという方が多くいました。しかし、コースなどを増やそうとすると、バス停間の距離を考えなければならないことや、営業している民間業者との競合は避けられないといけないなど課題が出てきます。高齢化社会になってきて、移動施策を考えなければならないことは理解しておりますが、なにかやるには皆様から納めていただいた税金を使って行うことになりますのでしっかり検討していきたいと思えます。

参加者 栃木県は、手をあげれば止まってくれるみたいです。そこまでとはいえないが利便性を向上できるようにしてもらえたらと思えます。

市長 そこまでのことはできないと思えますが、ご意見があったことは伝えておきます。他にもお出かけサポートタクシーもありますので是非ご活用ください。

参加者 「議会だより」に記載されている事項が質問と回答が逆なのではないでしょうか。タイトルに対して、質問がかみ合っていないのではないのでしょうか。

市長 議会だよりについては、市議会議員の方が作成しているものになります。見出しと質問がつながっていないかもしれませんが、質問と回答はつながっていると思えます。

参加者 移動スーパーやキッチンカーなどは町会と民生委員と社会福祉協議会支部の3者で行っておりますが、市としてどのような支援いただけるのか教えてください。

市 長 町会が補助金を申請していれば、活動補助金として出ているのではないかと思います。こういう場合は高齢者にとって良い場所ということで、ご意見として承ります。

参加者 地域のつながり(地域力)を大きくしていくとお話ししていましたが、町会をやめるという自治会が2～3自治会ある状態です。また市民活動振興センターが発行した資料をみると、H26年度と比べてR5年度は自治組織の加入率が15%落ちている。市全体として、地域力の減少をどのように受け止め、今後自治組織への加入を促進していくのか教えてください。

市 長 自治組織の加入率については、市としても課題としてとらえています。自治組織は、本来は行政が手を加えるものではないが、行政がそれを促すような施策を取っていかなければならないと認識しています。また、旧大井町につきましては、町会の下部組織に住宅自治会がある運用となっております。近年では、住宅自治会ごとに町会を抜けるといった傾向があります。しかし、町会を抜けると、行政からの連絡が途絶えてしまい、町会単位で補助している防犯灯の電気料の補助もなくなってしまいます。自治組織の加入促進は、今後も協働推進課と一緒に取り組んでいきたいと考えております。また、加入促進のための補助金もありますので、活用していただければと思います。

参加者 ふじみ野市の地震ハザードマップをみると文京学院大学のグラウンドが避難場所となっておりますが、現地を確認するとでかい扉があり、しっかりと施錠されています。誰がどのように施錠を解除するのか教えてください。能登半島地震では、避難所前で2時間待たされると話を聞きました。

市 長 調べて町会長へ回答します。また、災害があったら真っ先に避難所に避難するのではなく、自宅の至近距離でいいので、ハザードマップに載っている載っていないにかかわらず、安全確保ができる広い場所へ避難していただきたいです。避難所につきましては、その付近の方々が全員入れるわけではありません。被害想定を算出したうえで全人口

の何%が避難するのか等考え避難所を選定しております。避難所のカギについては、避難所のエリアの会長にもカギを保管していただくなど検討しているところでございます。

参加者 コモディイイダの右側に工場があり、その歩道ががたがたしていて転んだ人もいますので、ぜひ修繕してほしいです。

市 長 現場を確認して対応を検討します。

参加者 亀久保町会の近くにクランクと生垣もあり、見通しが悪く、小学生低学年の方が歩いていると見えないので、カーブミラーを設置してほしいです。

市 長 現場を確認して対応を検討します。

参加者 三芳インターチェンジのフルインター化が供用開始されますが、渋滞予測を市はどのくらい予測しているのか、また対策を教えてください。

市 長 交通量調査を行っており、調査の結果、増える見込みではあります。また、対策として、農協前の交差点の拡幅を行いました。実際には供用開始をしてみないとわからないことでもあります。供用開始後の対応として、信号機の調整になります。ただし、隣接する信号機とのタイミングとの調整もありますので、今後検討してまいります。